



財政再建

財政再建の第一歩は人件費削減
ボーナスの加算廃止
採算性の低い事業の見直し

議会改革

費用弁償の廃止
活発な議会活動の追及

教育

教育は未来への投資、国の根幹
学校、児童館など現場への
人財を確保します

誰もが安心して住める町

安全な町、災害にも強い町と共に
地域での防災対策は継続が重要
地域コミュニティーの充実が不可欠



くわた 恭子

広島市議会議員《無所属》

市民の収める税金が何にどのように使われているのかを
明けても暮れても審議するのが議員であり議会です。
借金漬けの行政を未来に押し付けてはいけません。



くわた恭子通信

Eメール: zxkyoko@yahoo.co.jp
<http://kyoko.moo.jp>

《無所属》



地域の皆様 お世話になります。市議会議員、くわた恭子です。只今は、統一地方選挙の真っ只中です。広島県23選挙中、16の選挙区で無投票となる(3/8現在)になってない選挙です。

平成15年に初当選させていた時に当時、このような選挙の状況になることとは考えられませんでした。市民が自分たちの候補者を選ぶことのできないのは由々ほことですが、市民が民意を示す方法としては選挙は大切な機会です。

有権者の皆様、無投票区が多く盛り上りに欠ける選挙もありませんが、それ以外の候補者をよく見て頂き、是非投票をしていただきますようお願いいたします。

平成31年度予算／大賛成とは言えません

改選期の骨格予算と言いながら、昨年度より191億円の増 約6701億円
災害復旧が予算増の原因というが、災害関連経費は66億円、半分にも満たない。

意見を付す予算は・・・	①高齢者いきいきポイント事業……………	7億7670万3千円
	②高速5号線……………	8億5000万円
	③新交通/アストラムラインの延伸……………	8580万円

①高齢者いきいきポイント事業

平成30年度実施状況として奨励金支給額が約2億7千万円で、当初の予算額の1/4です。一方、事務費は2億5千万円と高額、見直しが必要ではないか。

②高速5号線

高速5号線、二葉山トンネルの工事では、全体事業費約200億円が、見積もり項目の不一致から事業費が契約額と比べて大きく膨らむ見通しとなった。また掘削機(シールドマシン96億円)がわずか75m掘った時点で故障した為更に事業費が膨らむ見通し。おかしな契約の真相、掘削機故障の原因増額となる事業費の額と誰が負担するのかなどをはっきりさせてから予算執行をするべきである。

③新交通/アストラムラインの延伸

平成31年度は、環境影響評価の調査費8580万円を計上。佐伯区、五月が丘に2駅、石内東に1駅を含む6駅の場所とルートが示された。平成27年度の調査で、五月が丘から毎日3000人が利用するとの試算。さらに再調査を行うもの。全体事業費は約600億円、全線開通は約10年後延伸による利用者増は1万人、費用対効果に疑問。

くわた恭子 プロフィール

1961(昭和36)年11月 東広島市生まれ
現在 広島市議会議員
佐伯区子ども会連合会 副会長
彩が丘学区子ども会 育成指導員
彩が丘パトロール隊 隊長
保護司